

中央会やまぐち

特集

- ①決算関係書類等作成のポイント
- ②山口県令和6年度当初予算 中小企業関連予算のポイント

Close Up組合 吉南物流協同組合
中央会TOPICS
組合TOPICS
景況動向



4
2024
APR
Vol.792



持続的な賃上げの実現に向けた「やまぐち政労使会議」が開催

Close Up組合

クロスアップ

吉南物流協同組合

〒759-0134 宇部市大字善和字大日203-63

TEL 0836-38-8600

FAX 0836-62-5046

代表理事 井本 健



理事長
井本 健氏

品質と価格とサービスを常に研ぎ澄ませ、顧客満足を追求!

運送業界を取り巻く環境

運送業界は、燃料費の高騰や環境保全、安全規制の強化等によるコストの上昇など経営を取り巻く環境は厳しい状況にあります。

加えて働き方改革によって4月からドライバーの年間時間外労働の上限が960時間に制限されたことで発生する問題、いわゆる2024年問題への対応など組合員を取り巻く環境はさらに厳しくなりつつあります。

〈2024年問題が物流業界に与える問題〉

- ・物流企業の売上・利益が減る
- ・トラックドライバーの収入が減る
- ・荷主企業が物流委託先に支払う運賃、費用が上がる
- ・運送・物流企業が荷主企業に対して値上げ交渉を余儀なくされる



積極的に経済事業を展開

当組合は、平成7年1月、宇部市の一般貨物運送業を営む事業者を中心としたグループ会社5社が集まり設立しました。主な事業として組合員の事業に必要な業務用燃料及び資材等の共同購買、金融事業等に取り

組んでいます。また、上記事業以外にも人材確保のためのイメージアップ対策事業や新たな輸送方法の調査研究等にも積極的に取り組んできました。

共同購入事業では、タイヤと燃料を取り扱っています。グループ会社以外の組合員が増えたことあり、利用料も年初の予定を実勢が上回る状況が続いています。



給油設備

組合事務局より

近年は、タイヤ、燃料の共同購買事業はともに予想を上回る結果となっており、これからも組合員のお役に立つ事業運営を心がけ、各事業の利用促進に努めてまいります。

長引く生活必需品の物価上昇、ロシア、中国を中心とした世界経済の減速に伴う製造業の減産、コストの価格転嫁及び人手不足による人件費の価格転嫁の長期化等、先行き不透明な要素もありますが、相互扶助の精神で組合員のために必要な共同事業を行い、組合員の自主的な経済活動を促進と経済的地位の向上を図って行きたいと思っておりますので今後ともご支援の程よろしくお願ひします。

組合は決算関係書類等として**事業報告書、財産目録、貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案（または損失処理案）**を作成することが**義務付けられています**。

これらの決算関係書類等は、**通常総会の終了後2週間以内**に、総会議事録を添えて所管行政庁に提出しなければなりません。

以下に作成のポイント及び提出にあたってのチェックリストを記載しますので、施行規則に従った作成をお願いいたします。

◆決算関係書類等作成のポイント

■ 事業報告書

- 事業報告書は、通常総会において組合の事業年度内における事業活動等を組合員に報告する書類です。この事業報告書に記載しなければならない事項は施行規則で規定されており、この規定に従って作成しなければなりません。
- 事業報告書に記載しなければならない事項は大きく以下の3つです。
 - I 組合の事業活動の概況に関する事項
 - II 組合の運営組織の状況に関する事項
 - III その他組合の状況に関する重要な事項

■ 剰余金処分案（または損失処理案） ※株主資本等変動計算書はNG！

- 組合定款を今一度ご確認ください、定款に定められたとおりに「利益準備金」、「教育情報費用繰越金（法定繰越金）」、「特別積立金」の処理を忘れずに行ってください。
- 剰余金が発生した場合、**毎事業年度の当期純利益金額（前期繰越損失がある場合にはこれを控除した額）の10分の1以上を利益準備金**として積み立て、**20分の1以上を教育情報費用繰越金**として繰り越すことが法律で義務付けられています。（教育情報費用繰越金は、定款で教育情報提供事業を行うことを定めている組合のみ繰り越します。）
 - ※ この積立等は、当期純利益金額が少額であっても行う必要があります。
- また特別積立金を積み立てることを定款で定めている場合には、**当期純利益金額（繰越損失がある場合にはこれを控除した額）の10分の1以上**を積み立てなければなりません。
 - ※ 平成27年の定款参考例改訂に伴い、定款変更することで、特別積立金の積立範囲を「出資総額に達するまで」と定めることも任意にできます。
- 利用分量配当および出資配当は、これらの積立等に行います。
- 当期末処分剰余金及び次期繰越剰余金がゼロ以下の場合には損失処理案を作成します。それ以外の場合には剰余金処分案を作成します。

◆決算関係書類等提出にあたってのチェックリスト

確認項目	確認事項	○/×
事業報告書	「I 組合の事業活動の概況に関する事項」「II 組合の運営組織の状況に関する事項」「III その他組合の状況に関する重要な事項」を作成しているか。	
財産目録	施行規則に基づき作成しているか。	
貸借対照表	施行規則に基づき作成しているか。	
損益計算書	施行規則に基づき作成しているか。	
剰余金処分案 (または損失 処理案)	利益準備金として、当期純利益の10分の1以上を積み立てているか。(非出資商工組合を除く)	
	教育情報費用繰越金として、当期純利益の20分の1以上を繰り越しているか。(教育情報提供事業を行う組合のみ)	
	定款で定めている場合、特別積立金として、当期純利益の10分の1以上を積み立てているか。(非出資商工組合を除く)	
	利用分量配当・出資配当は上記の積立後に行っているか。	
	損失てん補を行う場合、定款の定めに従って取崩を行っているか。	

様式は本会HPに掲載しておりますので、この様式に倣い、作成をお願いいたします。
詳しい説明を希望される方は、お気軽に担当指導員にお尋ねください。



様式集はこちら
<https://axis.or.jp/dl>

特集2 山口県令和6年度当初予算 中小企業関連予算のポイント

山口県の令和6年度当初予算において中小企業関連予算は、「やまぐち産業労働プラン」や「やまぐち産業イノベーション戦略」、「やまぐち産業脱炭素化戦略」などを踏まえ、本県の潜在力や強みを最大限活かし、本県活力の源となる産業力を大きく伸ばす取組を進めます。

その主な事業について、新規・拡充事業を中心に概要を掲載します

■ 中堅・中小企業、小規模事業者の成長支援

拡 県内創業・事業承継促進事業 [146,469千円]

多様な創業や円滑な事業承継を促進するための一体的な環境整備の推進により、本県経済の持続的な成長と雇用の場の創出を図ります。

新 経営力再構築伴走支援プラットフォーム事業 [3,000千円]

中小企業の経営課題が複雑・専門化する中、地域や企業の実情に応じた最善の支援の提供に向けて、経営と金融の両面からの一体的な支援を行うためのプラットフォームの形成に取り組みます。

■ 産業人材の育成・確保

新 若者との共創による県内企業魅力向上事業 [84,700千円]

若者の視点を取り入れた企業の魅力向上に向けた取組やイベントの企画・運営、奨学金返還支援制度創設奨励金(※)の支給により、県内企業の魅力向上を支援します。

※奨学金返還支援制度を新たに創設した企業に対し、奨励金を支給

[対象] 奨学金返還支援制度を創設した県内中小企業等 [支給額] 60万円/社

拡 中小企業リスクリング支援事業 [21,223千円]

業務効率化・新事業展開等で必要となるDXやGX等の新たな分野のリスクリング支援や、普及啓発セミナーの開催等により、中小企業における人的資本経営の導入促進を図ります。

■ 働き方改革の推進

新 未来につなぐやまぐち共育て応援事業 [186,635千円]

育児休業の取得促進や共育てしやすい職場環境づくりに取り組む企業等を支援するとともに、共育てを支えるサービスの創出を支援し、男女ともに仕事と育児・家事の両立可能な社会の実現に取り組みます。

○ 育休取得を推奨する企業に対し奨励金を支給

○ 男性の育児休業取得の実績に応じて奨励金を支給(従業員300人以下の企業等に限る。)

○ テレワークや子連れ出勤に係る環境整備、育休からの職場復帰の支援等、企業等の育休取得や共育て職場環境づくりに対する補助金の交付

[補助率] 1/2 [補助上限] 1,000千円2

■ 物価高騰緊急対策

新 賃金見直しによる人材確保・定着支援事業 [195,923千円]

安定的な人材確保・定着の実現のため、県内中小企業等における賃金引上げや賃金体系の見直しを支援します。

○ 初任給等引上げ応援奨励金

初任給や若年層(34歳以下)の正規社員について、定期昇給相当分を除き3%以上の賃金引上げを実施した中小企業等に奨励金を支給

[1人あたり支給額] 10万円 [1社あたり上限額] 100万円

新 やまぐち中小企業物流DX促進事業 [33,826千円]

物価高騰等の影響により、特に運送事業者は経営状況の悪化が懸念されており、「物流2024年問題」への対応が喫緊の課題となっていることから、物流を安定的かつ持続可能なものとしていくため、県内運送事業者の「物流DX」に向けた取組を支援します。

○ デジタル技術を活用した取組に対する補助

[対象] 物流効率化に資する設備等の導入に係る経費 [補助率] 1/2

詳しくは、山口県HP (<https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/soshiki/17/245699.html>)
をご覧ください。



山口県HP

持続的な賃上げの実現に向けた「やまぐち政労使会議」が開催されました

山口県中小企業団体中央会

3月18日(月)、山口県庁正庁会議室において、宮崎政久厚生労働副大臣を迎え、村岡嗣政山口県知事出席のもと、県内の政労使のトップが一堂に会し、持続的な賃上げの実現に向けた「やまぐち政労使会議」が開催されました。

会議では、はじめに宮崎厚生労働副大臣が本会議開催の経緯を踏まえ挨拶された後、行政として山口県知事が、労働団体として伊藤連合山口会長が、経済団体として本会の矢敷会長、山口県商工会連合会の藤村会長、山口県商工会議所連合会の川上会頭、山口県経営者協会の山本会長がそれぞれ意見を述べました。



矢敷会長

矢敷会長からは、「中小・小規模事業者における賃上げを進めるためには、まずは、原材料費等のもとより、労務費を含めた適切な価格転嫁をサプライチェーン全体で定着させることが重要である。行政には、労働環境の整備や生産性向上・省力化への支援を強化していただきたい。中央会としても、労務費の価格転嫁ガイドラインの周知や、国・県等の施策を活用した生産性向上等の取組を支援し、中小・小規模事業者の持続的な賃上げに向けて取り組んでいきたい」旨発言しました。

会議の最後に、中小・小規模事業者が賃上げの原資を確保できる取引環境を整備するため、政労使それぞれの取組を進化させるとともに、相互に連携・協力して「オール山口」で取り組むとする「持続的な賃上げの実現に向けた共同宣言」が満場一致で採択されました。

(総務企画部 浦川)

連合山口から要請書を受領

山口県中小企業団体中央会

3月4日(月)、連合山口から本会及び山口県経営者協会、山口県商工会議所連合会、山口県商工会連合会に対し、「2024春の要請行動」として、要請書の提出がありました。本会からは坂本専務理事が出席し、連合山口の中元事務局長から、要請書を受領しました。

要請の内容は「『底上げ』『底冷え』『格差是正』の取り組み強化と『賃金水準の追求』、「サプライチェーン全体で生み出した付加価値の適正配分と労務費の価格転嫁」、「人材の確保・定着」と『人材育成』に向けた職場の基盤整備」、「労働関係法の周知徹底」を柱とするものです。

これらの要請に対し、経済4団体からは、県内中小企業は、慢性的な人手不足と原材料価格や燃料費の上昇等に価格転嫁が追い付かない中、収益の悪化が続き厳しい経営状況にあるが、問題意識は一致する部分も多く、真摯に議論を重ねていきたい等と回答しました。

(総務企画部 浦川)



令和5年度組合青年部山口県研修会を開催

山口県中小企業団体中央会青年部

3月14日(木)、山口市「ユウベルホテル松政」にて青年部山口県研修会「信頼されるリーダーになろう～ANAの乗務員が教える部下や仲間とのコミュニケーション講座」を開催しました。

ANAビジネスソリューション株式会社の野中陽子氏を講師に、航空会社ANAで実践されているコミュニケーション術について学びました、自分も相手も大切に自己表現であるアサーションをマスターするために参加者相互で意見交換をしながら様々な課題に取り組みました。部下や仲間との円滑なコミュニケーションスキルを身に着ける機会となりました。

(連携支援部 岡村)



令和5年度やまぐち中小企業脱炭素化促進支援事業報告会を開催

山口県中小企業団体中央会

3月25日(月)、山口市「ウェディングコートエミリア」にて、令和5年度やまぐち中小企業脱炭素化促進支援事業報告会を開催し、山口県並びに委託及び支援先事業者に参加いただきました。



山口県産業労働部産業脱炭素化推進室の上野主任から、山口県の今後の中小企業者への脱炭素経営取組支援の概要について、また、ワイエムコンサルティング株式会社の原田課長から支援先事業者の取組・成果などについて報告がありました。その後支援先事業者との意見交換を行い、脱炭素経営の行動目標を具体化するとともに、事業者からは、事業活動を拡大しつつも脱炭素につなげるためのスタンスが明確になった等取組に意欲的な意見をいただきました。

山口県並びに中央会では今後とも、中小企業の脱炭素化の取組を支援してまいります。(連携支援部 前田)

中小企業BCP策定実践セミナー(連携型事業継続力強化計画)を開催

山口県中小企業団体中央会

3月8日(金)、山口市「山口グランドホテル」にて中小企業BCP策定実践セミナーを開催しました。

独立行政法人中小企業基盤整備機構中国本部中小企業アドバイザーの井上明雄氏を講師にお招きし、中小企業の事業継続を阻むリスクや経営に活かす事業継続力強化計画等について講話がありました。

西日本豪雨被害において事業者がどう対応・復旧したか、事前に何を準備していたかなどの実例をもとに、ハザードマップの見方や事業継続力強化計画を策定するメリット、自社だけでは対応できない事象を連携によって解決することなど、事例を交えながらわかりやすく解説いただきました。

(連携支援部 前田)



事業継続力強化計画認定ロゴマーク

令和5年度事業承継セミナー(第3回)を開催

山口県中小企業団体中央会

3月15日(火)、山口市「山口グランドホテル」にて令和5年度事業承継セミナー(第3回)を開催しました。一般社団法人ベンチャー型事業承継事業戦略統括兼九州エリア責任者の山岸勇太氏(アトツギ甲子園事務局)を講師にお招きし、「先人の想いを継ぐ、未来の夢を繋ぐ事業承継」をテーマに講演をいただきました。

中小企業庁が主催する「アトツギ甲子園」は、先代から受け継いだ経営資源をベースにしながら、後継者が新たな価値やイノベーションを発表する舞台となっています。講師からは、「日本は100年を超えて事業を営んでいる企業がたくさんある。事業環境の変化に合わせて、社会に必要とされる事業を担ってきたのは『アトツギ』であり、アトツギが前向きに事業を行う、変化を起こしていく支援が必要とされている」旨のお話をいただきました。

講演の後、やまぐち事業承継・M&A協同組合理事の中村伸一氏を交え、アトツギ甲子園の発表者事例などについてトークセッションを行いました。

(連携支援部 前田)



先進組合の視察研修を開催

山口県中小企業組合士会

3月15日(金)~16日(土)、広島県尾道市の「尾道観光土産品協同組合」、「尾道本通り商店街連合会」、世羅町の「協同組合夢高原市場」を視察し、取組等について学びました。尾道観光土産品協同組合では組合員の作る土産品



を共同販売店舗にて販売されており、尾道の観光業に寄与する取組について、尾道本通り商店街連合会では商店街を実際に歩き100年以上続く老舗から若者が運営するカフェ、古民家ゲストハウスまで様々な商店を見学しました。協同組合夢高原市場は農業が盛んで、その農作物を活用した6次産業化の取組について学びました。県外への先進組合への視察研修はコロナ禍以降行われておらず、会員相互の交流を図れる良い機会となりました。

(連携支援部 岡村)

組合共同事業・官公需懇談会を開催

山口県中小企業団体中央会

3月11日(月)、山口市「ユウベルホテル松政」にて組合共同事業・官公需懇談会を開催し、協同組合下関造園クラブ専務理事の藤本篤靖氏、山口県室内装飾事業協同組合理事長の横田晃一氏及び同事務局の三浦恵美氏にご参加いただきました。

組合での共同事業や官公需への取り組みや業界団体としての働きかけ、組合・組合員は相互扶助を根幹として事業を行い行動していくことが新たな取り組みにつながっていくことなど、実例を踏まえて懇談を行いました。

(連携支援部 前田)



先進地視察を実施

企業組合山代の里
企業組合のぞみ会

2月22日(木)、企業組合山代の里が、地域産物を活かした商品開発等の参考にするため、山口県岩国農林水産事務所の事業を活用して企業組合のぞみ会の視察を行いました。企業組合のぞみ会では、地元の米を使ったぼん菓子を中心に製造しており、企業組合山代の里においても地元の米を活用した新商品を開発したいとの思いから、先進地視察を行うこととなりました。

当日は、ぼん菓子の製造や作業場の見学を行い、その後企業組合のぞみ会の下村理事長とともに意見交換を行いました。中山間地域の企業組合が抱える課題の共有などを行い、今後お互い協力しながら事業推進をしていく旨、話し合いました。(連携支援部 竹中)



女性活躍セミナーを開催

山口県管工事工業協同組合

3月5日(火)、中央会の組合等活性化支援事業を活用して、第5回目となる女性活躍セミナーを開催しました。当組合では、建築設備業界で働く女性が、より良い環境の下で活躍できるように、女性経営者等を構成員とした女性活躍委員会を設置しています。

セミナーでは、社会保険労務士事務所Kオフィスの澤江恵子氏を講師に、「ダイバーシティと女性活躍～企業が目指すダイバーシティ経営とは～」をテーマに、ダイバーシティ経営や多様な働き方に対応できる雇用管理、国等の企業支援制度などについて、お話がありました。



その後、管工事・設備業界を紹介するための広報事業として行われた、やまぐち建設産業魅力発見フェアへの参加や女性活躍委員会による高校生への出前授業などの活動報告が行われました。

セミナー終了後に懇親会も行われ、女性の活躍について考え、交流を深める良い機会となりました。(連携支援部 竹中)

ウェルビーイングを体験できる「健康オタクfes」を開催

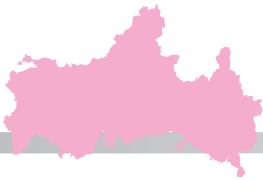
ラポール東山口協同組合

当組合は、山口県東部で各種イベントの企画・運営・メディア制作に携わる事業者が集まり本年2月に設立されました。地域に寄り添うメディアとして地域社会全体のウェルビーイングに貢献していくことを目的としています。

3月20日(祝)、第一弾イベントとして、ウェルビーイングを体験できる全世代参加型のイベント「健康オタクfes モノクロ脱出計画」を徳山デッキ及び徳山駅前図書館交流室にて開催しました。身体を動かす体験、学びに繋がる講座やトークセッション、プロフィール撮影会、マルシェ、ワークショップ、子どもの遊び場など、身体とココロに心地よく全世代が楽しみ共感できるイベントとなりました。

(連携支援部 平田)





月次景況調査結果

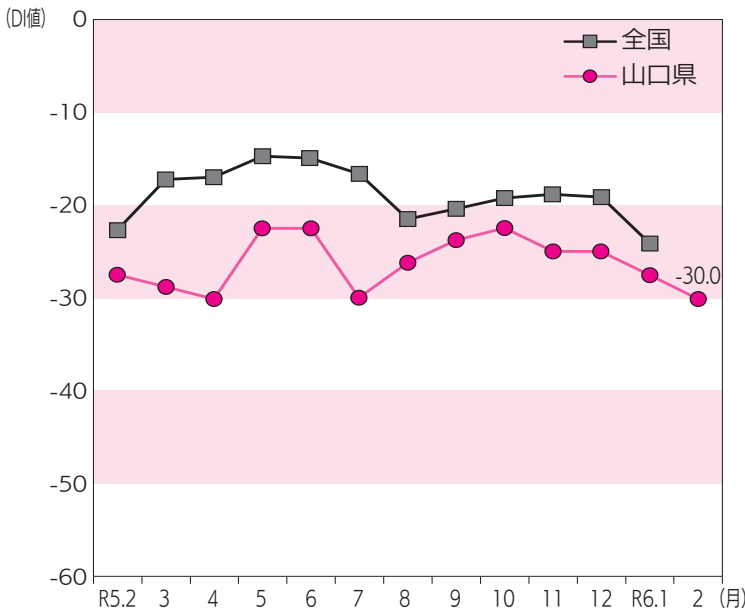
令和6年2月期

2月期の売上としては例年と同程度とする業種が多いが、物価高による個人消費の減退や人手不足により売上が減少している業種もあり、また、原材料費等の高騰や人件費の上昇分を販売価格に転嫁しきれず、収益は厳しい状況が続いていることから、景況DI値は2か月連続で悪化した。

人手不足と人材確保に伴う人件費の上昇が、多くの業種で経営の足かせとなっており、先行きへの不安感を増加させている。

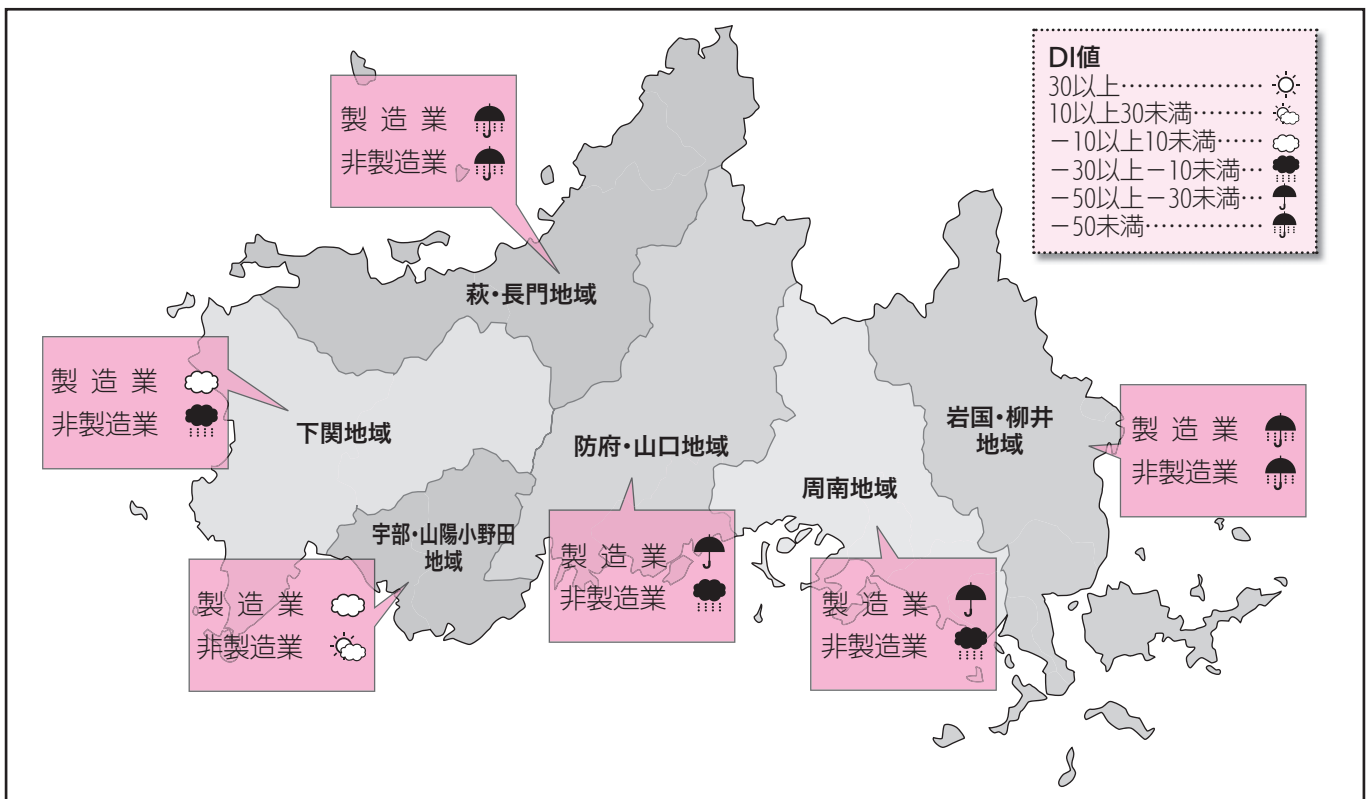
※DI値(前年同月比) = 増加・好転組合割合 - 減少・悪化組合割合

業界の景況DI値の推移 - 全国平均との比較 -



業種別の景況

	業種	前年同月比	前月比
製造業	食料品	☔	→
	繊維工業	☔	→
	木材・木製品	☔	→
	印刷	☁	↗
	窯業・土石製品	☔	→
	一般機器	☔	↘
非製造業	輸送機器	☔	→
	卸売業	☔	↘
	小売業	☔	↗
	商店街	☔	↘
	サービス業	☁	↘
	建設業	☔	→
	運輸業	☁	↗
その他	☔	→	



地区・業種を代表する県内組合の役職員の方から、毎月、業界の景気動向等に関する情報を収集・分析し、行政・関係機関に情報提供しています。

また、中央会ホームページ (<https://axis.or.jp/>) の「月次景況調査」にも掲載していますのでご活用下さい。

製 造 業	食料品	☂	<ul style="list-style-type: none"> ○ 卵、小麦等原材料の価格変動が穏やかになったが、小豆が品不足。(パン・菓子製造業) ○ 催事関連企業は2月になり人の動きも落ち着き、商品の動きも一気に止まった様子だが、春休みやゴールデンウィークに向けての準備を始めている。(水産食料品製造業) ○ インボイスの対応、電子帳簿保存法の対応で手間がかかっている。(精穀・製粉業)
	繊維工業	☂	<ul style="list-style-type: none"> ○ 状況は横這いだが、継続して余裕をもって仕事が進行している。(外衣・シャツ製造業)
	木材・木製品	☂	<ul style="list-style-type: none"> ○ 組合員の平均売上額は、コロナ禍の令和5年2月と比べ10%の減少。建築工事の減少で、木材の販売競争が激化し、見積依頼は増加するが受注に繋がらない。
	印刷	☁	<ul style="list-style-type: none"> ○ 印刷物の受注が最も集中する年度末を迎えるが、例年ほどの煩雑さは見られず、印刷物離れによるペーパーレス化はここ数年で特に流れが加速していると実感している。
	窯業・土石製品	☂	<ul style="list-style-type: none"> ○ 働き方改革で公共工事が週休二日制となり工期が延び、出来高が上がらず、収益ダウン。昨年設計価格を上げたが、更に検討せざる負えない。(コンクリート製品製造業) ○ 新規受注は少なく、墓石の撤去処分が多い。異業種参入もある。(石工品製造業) ○ 例年同様、観光客が減少し売上も低迷。(陶磁器・同関連製品製造業)
	一般機器	☂	<ul style="list-style-type: none"> ○ コンスタントな受注状況だが、人手不足で納期を延ばし対処している。外国人雇用は、日本人にしか担当できない部門もあり、今後も人材確保が課題になる。本年2月は大手自動車メーカー関係の比較的大規模な受注が獲得できずマイナスとなった。(防府市) ○ 大手機械部品メーカーの発注は若干の遅れが想定されるも、年度明けには改善の見通し。日本人人材を確保することは困難を極め、AI、機械化が求められている。(宇部市)
輸送機器	☂	<ul style="list-style-type: none"> ○ 鉄道車両関係の受注量は2024年度以降減少となる見通し。2026年度からの台湾新幹線の受注見込みは確定していない。原材料費や水道光熱費の高騰による収益悪化が続くものと思われる。半導体製造装置の部品製造業は低位で推移している。 	
非 製 造 業	卸売業	☂	<ul style="list-style-type: none"> ○ 倉庫運営はこの1年順調で、海苔・いりこ以外は100%の稼働率。海苔の不作による価格の上昇で、在庫量が2年連続で減少していることは不安材料である。(乾物卸売業) ○ 仕入価格の値上がりにより、在庫調整に苦慮している。(各種商品卸売業)
	小売業	☂	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1～3月は閑散期。2月の収益は、初売りや福袋で経費を掛け過ぎ、前年比で同等かやや下回った模様。暖冬で乳液やクリーム売り行きが伸びない。(化粧品小売業) ○ 2月の売上は、閏年で営業日が一日多く、前年同月比7%増加。近隣の花の名所により客数は急増の一方で、水産物を中心とした生鮮食材が少なく、人手不足も深刻化し、需要の高まりによる恩恵を十分に享受できていない。(各種商品小売業)
	商店街	☂	<ul style="list-style-type: none"> ○ 能登半島地震から2ヶ月、大きな影響は無いものの消費者の心理的なダメージが残っている。イベントも再開されたが、4年ぶりできこちない運営となった。助成金等公的事業は「年度末締め」であるので、取り纏めの事務仕事に追われている。(岩国市) ○ 物価高騰等による先行き不安から、消費が伸びない。株高も一部には恩恵があるだろうが、一般的には影響はない。春先の商況に期待している。(萩市)
	サービス業	☁	<ul style="list-style-type: none"> ○ 経営状況は上向きだが、原材料、光熱費等高騰の価格転嫁もできない状況。(理容業) ○ 昨年末発覚した大手自動車メーカーの不正による出荷停止が大きく影響し、12ヶ月連続で増加の新車新規登録台数がマイナスとなり大きく減少となった。(自動車整備業) ○ 昨年、一部の入浴料金を値上げしたので、若干、売上が増加した。機械の老朽化により修繕費が嵩み、原油高と物価高騰で資金繰りに追われる。(旅館業 長門市) ○ 宿泊者数が減少。雇用はパートやアルバイトの割合が増えている。(旅館業 下関市)
	建設業	☂	<ul style="list-style-type: none"> ○ 左官業従事者が1990年から2020年の30年間で約7割減少し、その後も団塊の世代が多数辞めていると推測する。工事量の多寡よりも技能者の減少が課題である。(左官業) ○ 5月頃までは仕事を確保しているが、見積件数、生産トン数ともに減少傾向。鋼材価格の上昇や運搬状況の悪化等、コスト増の要因が多く先行きが不安。(鉄骨・鉄筋工事業) ○ 年度末が近付いたが、組合員の公共事業の受注が減少しており、組合の次年度収入の減少も予想される。中小零細企業の実態も把握せずに、物価上昇を上回る賃上げをと旗を振るが、簡単に賃金が決定されるものではない。(一般土木工事)
	運輸業	☁	<ul style="list-style-type: none"> ○ 輸送稼働率はやや上昇したものの、コロナによる影響は尾を引いており、長距離輸送は無いに等しい状況。運転者の高齢化も大きく影響。(一般貨物自動車運送業 下松市) ○ 荷物運送量は微増の模様。庸車の確保が難しい。(一般貨物自動車運送業 宇部市) ○ 2月1日～20日分は+15.8%。前々年度比は+125.1%。コロナ禍よりかなりの回復に見えるが比較にならない。燃料が上昇傾向で、営業車両を減車するタクシー会社や、個人タクシーの廃業がある。乗務員不足で売上が増加しない。(一般乗用旅客自動車運送業)
その他	☂	<ul style="list-style-type: none"> ○ 4月介護報酬改定は、最賃上昇に追い付いていないため、一層人材確保が難航すると予想。3月末閉鎖もある。2025年問題で現場からも不安の声が上がっている。(介護事業) 	

中小企業組合検定試験 祝合格おめでとうございます

12月3日(日)に実施された中小企業組合検定試験の合格者が3月1日(金)に発表され、山口県からは8名の方が合格されました。

中小企業組合検定試験合格者

岡田恵美子 さん (宇部管工事協同組合) 中野 伸子 さん (下関製氷協同組合)
古賀 真美 さん (協同組合山九ハイウェイセンター) 藤本 迅人 さん (協同組合山九ハイウェイセンター)
木橋 綾乃 さん (協同組合維新) その他3名

中小企業組合検定試験とは？

中小企業組合検定試験には、組合の業務遂行に必要な「会計」「制度」「運営」の3つの科目があり、すべての科目に合格することで“中小企業組合士”の称号を与えられます。この中小企業組合士は組合運営に関するエキスパートであり、組合に携わる全ての方に取得して頂きたい資格です。

本会では、試験対策のための講習会や受験料にかかる助成制度を設けています。

ご興味のお有りの方はお問い合わせください。

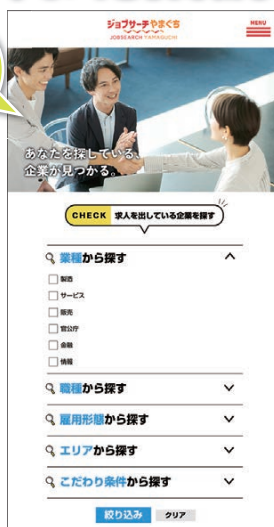
【お問い合わせ先】 山口県中小企業団体中央会 (担当：後・藤井) ☎ 083-922-2606

求人企業等リンクサイト「ジョブサーチやまぐち」掲載事業者募集中!

掲載費用
無料!

本会では、中小企業等の人材確保を支援するとともに、求職者の県内就職を促進することを目的として、県内中小企業等の求人情報をまとめた求人企業等リンクサイト「ジョブサーチやまぐち」を運営しています。採用ホームページまたは企業ホームページに直接求職者がアクセスします。

サイト
トップ
画面



検索後の
画面



〈お問合せ先〉

総務企画部 後・水野
TEL:083-922-2606
Mail:ushiro@axis.or.jp



掲載申込はこちらから

令和6年能登半島地震に係る義援金のお礼とご報告

令和6年1月1日に発生した令和6年能登半島地震により被災された皆様には、心よりお見舞い申し上げます。

本会では、本会上部組織である全国中小企業団体中央会の取組に呼応し、特に被害が甚大な能登地方をはじめとして被災された石川県下の中小企業及び組合の早期復興を支援するため、義援金等を募ることとし、会員の皆様に義援金をお願いしてまいりました。

本義援金は、多くの組合・中小企業の皆様のご協力を賜り、山口県では220万円、全国総額では1億3千万円が寄せられました。寄せられた義援金につきましては、3月11日に、全国中小企業団体中央会の森会長が石川県中央会を訪問し、義援金の贈呈に係る目録を手交しました。

皆様のあたたかいご支援、ご協力に感謝申し上げますとともに、被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。



機器導入により 組合員の労働環境を改善！

「日本全国組合紀行」では、全国の様々な組合の取組について紹介します。
今回は、機器導入による組合員の作業効率化を実現した沖縄県の「那覇電気工事業協同組合」の取組を紹介します。

那覇電気工事業協同組合

沖縄県那覇市古波蔵4丁目12番7号
理事長 山川 光雄

〈設立年月日〉

昭和46年5月18日

〈組合員数〉

144名

〈組合員業種〉

電気工事業



導入した廃棄電線ストリッピングマシン



那覇電気工事業協同組合HP
<https://www.nahadenkyo.com/>

〈背景・目的〉

当組合は沖縄県から電気工事業を許可された事業者で組織している組合である。組合員からは、廃棄電線の分離作業の効率化が課題であるとの声が多く寄せられていた。分離作業はベテラン職人で約1時間、新人だと2倍の時間が掛かることもあるほか、電線の種類によっては作業中に怪我をすることもあった。また同作業は主に現場対応後に実施しており、繁忙期は多くの職人が残業せざるを得ないことから、労働環境の改善も解消すべき課題となっていた。

〈取組内容〉

廃棄電線分離作業の効率化のため組合で機器を導入し課題解決が図れるか検討していたところ、中央会担当指導員より働き方改革推進支援助成金の団体推進コース活用の提案があった。助成金の活用にあたり、はじめに事業を推進するための体制を整備。組合事務局にて聞き取り調査及び機器選定を行い、三役会に随時相談することとした。続いて廃棄電線の分離作業を行っている組合員4社へ聞き取り調査を実施。上記の労働環境面での課題が判明した。

機器4台が納品された後、効果測定のため聞き取り調査に応じた組合員4社へテスト導入したところ、機器使用前後で平均約5.4分の作業時間短縮が図れたとの結果を得ることが出来た。

〈成果〉

組合の機器貸出事業を利用する組合員からは「空いた時間でベテラン職人がより難易度の高い業務に専念できるようになった」「新人も機器を使用することで一定の時間内に作業完了出来るようになった」と高評価を得ている。

今後、組合員に対して機器使用による作業安全性・労働能率の向上や分離作業時短化の見える化について更に周知し、組合員の残業削減に寄与したい。



機器使用による廃棄電線の分離作業の様子

山口県中小企業団体中央会

第69回 通常総会のご案内

日時：2024年6月18日(火)
13:30~15:00 (予定)

場所：「かめ福オンライン」
山口市湯田温泉4-5 ☎083-922-7000

会員の皆様のご出席をお待ちしております。

お問い合わせ先：山口県中小企業団体中央会
総務企画部 (担当：水野・山本)
☎083-922-2606

発行 山口県中小企業団体中央会 ☎753-0074 山口市中央4丁目5番16号 山口県商工会館6階
☎083-922-2606 Fax 083-925-1860 HP <https://axis.or.jp/>

印刷製本 株式会社 桜プリント社

